

地域福祉の充実をめざして、支える心のネットワーク！



赤い羽根共同募金



福祉ちば

2017

7

JULY

編集・発行  社会福祉法人千葉県社会福祉協議会

No.174

特集

民生委員制度創設100周年を迎えて



地域の福祉活動

〔船橋市〕湊町地区社会福祉協議会

エールちば

千葉県体験活動ボランティア活動支援センター

福祉人材関連情報

介護福祉士等届出制度スタート

県社協ニュース

若者チャレンジ支援「デュアル・システム」

ご存知ですか？子ども食堂

子ども食堂 つき

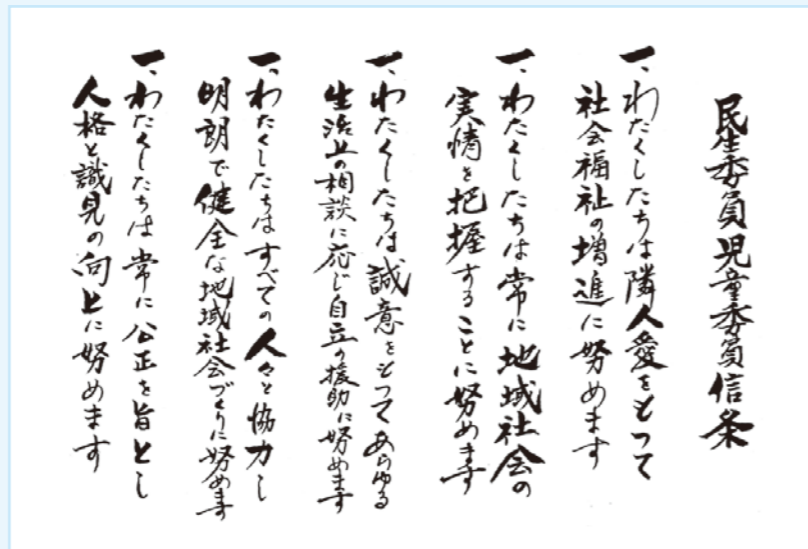


全国民生委員児童委員連合会 副会長
千葉県民生委員児童委員協議会 会長
流山市民生委員児童委員協議会 会長

大野トシ子さん

民生委員制度を未来に つなげるために これからも 住民の立場に立って、地域福祉を推進

民生委員制度は、今年100周年を迎えます。千葉県の民生委員・児童委員（以下、民生委員）のみなさんも、長い歴史の中で常に地域福祉の担い手として活動してきました。そこで今回は千葉県民生委員児童委員協議会の大野トシ子会長に、千葉県における民生委員活動のあゆみや、やりがい、今後の活動についてお話を伺いました。



昭和26年、第6回全国大会（鹿児島）で制定。

100周年ピンバッジに込められた思い

100周年シンボルマークピンバッジ
民生委員のシンボルマークである四つ葉に「これからも地域とともに」のキャッチコピーを合わせたピンバッジ。活動の際は必ず付けているので、見かけたら気軽に声をかけてください。

応援マークピンバッジ
「応援します！！民生委員・児童委員」というキャッチコピーが入ったピンバッジ。



千葉県で初めて開催した全国民生委員児童委員大会（幕張メッセ）

Q 民生委員の立場や役割について教えてください。

大野 民生委員法に基づいて、厚生労働大臣から委嘱された特別職の地方公務員で、給与の支給はなく、ボランティアという立場です。また、児童福祉法に基づいて児童委員も兼ねているので、正式な名称は「民生委員・児童委員」となります。すべての民生委員は、市町村の一定区域ごとに設置される「民生委員児童委員協議会」（以下、民児協）に所属します。民生委員は自らも地域の一員として、それぞれが担当する区域において活動しています。高齢者や障がい者を見守り、子どもたちへの声かけを行うとともに、地域住民の様々な相談に応じ、必要な支援が受けられるように専門機関などにつなぎます。民生委員法によって守秘義務が課せられているので、安心して相談してください。

「主任児童委員」は区域を持たずに、子どもや子育ての支援を専門的に担当する民生委員です。

Q 千葉県における民生委員活動のあゆみを教えてください。

大野 民生委員制度は大正6年に岡山県で発足した「済世顧問制度」に始まり、千葉県は昭和2年に方面委員規程が公布されたことが始まりです。今年90周年を迎えます。当初は方面委員設置区域を千葉市ほか16町に決め、160名を委嘱しました。「方面委員制度」とは大阪で発足し、管内をいくつかの方面（地域）に分けて委員を配置し、生活困窮者の支援を中心に活動する制度です。昭和6年には県下全市町村に方面委員が設置され、1,071名の定数が決められました。昭和21年には民生委員令公布により、名称も方面委員から民生委員に改まりま

す。平成12年には民生委員法が改正され、住民の立場に立って支援する、地域福祉の担い手という位置づけが明確になりました。

そして現在は孤立死の防止、虐待の防止、認知症高齢者の支援など、幅広い生活課題に対応していますが、地域で活動し、地域をよく知る民生委員だからこそできるのだと思います。

Q ご自身の民生委員活動を振り返っていただけますか？

大野 私が民生委員を拝命したのは昭和55年、38歳のときです。担当区域は流山市の新興住宅地でその当時、高齢者だけの世帯や生活に困っている世帯がほとんどありませんでした。そんな中、まず私という人間を知ってもらおうと考え、地域で会った人には必ずあいさつをするように努めました。最初は怪訝そうな顔をされる人も、そのうちあいさつを返して

いただけるようになり、私が民生委員であることが、地域に広まっていました。そして困っている方から相談をお受けするようになったのです。民生委員の存在を知っていただくには「あいさつ運動」がとても有効だと感じました。

私の担当区域は児童数が多かったので、私は一人で通学路に立ち、朝の登校時の見守り活動に取り組むことにしました。もう20年以上、雨の日も風の日も続けています。見守った子どもたちが成長して「今年から高校生です」「この春、結婚します。大野さんとお話しするのはとてもうれしく、民生委員冥利に尽きます。

しかし「民生委員を辞めようか」と悩んだ時期もありました。平成7年、主人が心臓病で入院したのです。しかし、仲間の民生委員から「お互いさまだから、助け合いましょう」と励まされ、主人からも「地域にはあなたと話すことを楽しみにしている人がいるから、続けてください」と言われたことで、37年間、民生委員を続けることができました。

平成25年には、千葉県として初めて全国民生委員児童委員大会を幕張メッセ

で開催しました。県社協さんをはじめ、たくさんの方が協力してくださり、県民児協の会長として感謝しております。おかげさまで成功裏に終わり、他県の方から「すばらしい大会だった」とお褒めの言葉をいただきました。

Q これからの民生委員活動についてお聞かせください。

大野 最近よく「民生委員の活動が増えて、たいへんだ」「なり手がいない」という声を聞きます。担当している地域の地域性によって、活動に違いが出てくると思いますが、民生委員のみなさんには「課題を一人で抱え込まないで」と伝えたい。困った時は先輩に相談して、みんなで解決しましょう。民生委員は決して一人ではありません。仲間がそばにいます。一人で頑張りすぎないようにしましょう。

また、高齢者世帯が増加し、民生委員だけでは見守り活動が難しくなってきたので、地域のみなさんが協力してくださいと助かります。私の地域では、自治会のみなさんと一緒に高齢者を見守るネットワークを構築しました。

民生委員の活動は続けていると必ず大



5月の民生委員の日 訪問風景（流山市）

きな喜びを得られます。「あなたが地域の民生委員で本当によかった」と言ってもらえる日まで、共に活動していきましょう。民生委員制度は日本独自の素晴らしい制度だからこそ、100年も続いてきました。これからも、地域福祉の担い手として活動し、新しい世代につなげていきたいと思っています。



新しい事業を次々立ち上げ、 地域に笑顔を増やしていく

大人の塗り絵

船橋市は24の地区社会福祉協議会で構成され、すべての地区社協が公民館や市民センター等に事務局を設置し、事務局員(地域コーディネーター)を配置しています。湊町地区社会福祉協議会(以下、湊町地区社協)は、市の南部に位置し、大型商業施設やマンションなどが建つエリアと、古からの住民が暮らすエリアが混在する地区。赤ちゃんからお年寄りまで楽しく暮らせる地域づくりを目指し、先進的な事業に取り組んでいます。

ミニデイサービスは 仲間づくり、生きがいづくり

湊町地区社協は南老人福祉センターの一室に事務局を置き、3名の地域コーディネーター、1名の生活支援コーディネーターが配置されています。会議や作業ができるコーナーも設けられており、ミニデイサービスはここを会場にしています。

取材に伺った日は「大人の塗り絵」の開催日で、8名の女性が参加していました。塗り絵といっても繊細な筆致で重ね塗りをしていくもので高い技術が求められます。大手出版社のコンクールに入賞



湊町地区社協のみなさん。右から石黒健さん、宮崎幸恵さん、金子千代美会長

することを目標に掲げて、参加者のモチベーションを高めていました。

参加者は65歳以上の地区の住民。昼食をはさんで10時から14時まで開催します。「一人暮らしだから、おしゃべりしながらの食事楽しみ。みなさんと仲良くなるには、このくらいの人数がちょうどいい」と、仲間づくりを重視する参加者もいました。月一回の開催日が待ち遠しいそうです。

ミニデイサービスでは「パソコン教室」と「絵手紙」も実施しています。パソコン教室の講師は事務局長の石黒健さん。「パソコンにさわったことがないというお年寄り、一生懸命に年賀状を作成したり、エクセルを使ったりしています。まさに生きがいづくりの場となっています」

閉じこもっていた住民の 世界がどんどん広がる

いきいきサロンも地区内4カ所で開催。公民館や自治会の集会所を借りて、民生



高齢者がサロンに参加して、ボランティアさんの紙芝居を見ている

委員や地域ボランティアが中心となって月1回ずつ茶話会を開催しています。

湊町地区社協の生活支援コーディネーター、宮崎幸恵さんは「いきいきサロンに参加したことがきっかけで、ミニデイサービスなど別の事業にも興味を持って参加される方がいます。最初は閉じこもりがちだった方が世界がどんどん広がって、笑顔も増えていくと、私たちスタッフもやりがいを感じます」と述べています。

一方、子育てサロンは、0歳児を持つお母さんを対象に月1回、開催。第2子、第3子も歓迎しています。お母さんたちの情報交換、仲間づくりの場として定着

してきました。公民館との共催なので、場所を確保する煩わしさがありません。

活動拠点を立ち上げて 自主事業も展開

南老人福祉センターの近隣に、湊町地区社協の活動拠点「コミュニティ広場それいゆ」を平成23年にオープンしました。市の補助金を活用して軒家を借り、住民相互のふれあいを目的とした自主事業を行っています。

「それいゆ大学」は日常生活に役立つ知識を、楽しみながら学んでいく講座。振り込め詐欺防止の講座や、地域の工場見学など、バラエティに富んだプログラムがシニアの参加者に好評です。

子ども向けの企画にも取り組んでいます。親子で楽しむリトミックを定期的実施しているほか、夏休みには小学生を対象とした工作教室や勉強会などを行っています。



拠点事業の「それいゆ」で行っている子育てプログラム

防災訓練を通して 地区の中学生と交流

湊町地区は海に面しており、東日本大震災以降、地域住民の防災意識が高まっています。地区社協でも様々な取り組みを行っていますが、平成26年から湊中学校の防災訓練に参加しています。今年1月も中学生と地域住民と一緒に、簡易トイレと非常用照明の設置訓練を行いました。手際よく組み立てていく中学生の姿に接し、宮崎さんは「地域の力になる」と感じたそうです。

また、湊町地区社協は、市内初の試みとして、就労準備支援事業の対象者にボランティア体験の機会を提供しました。「社会との関わりに不安がある」「コミュニケーションが上手に取れない」といった理由で就職が難しい成人の男女3人に、いきいきサロンのボランティア活動を体験してもらったのです。スタッフや利用者の温かい対応もあって、3人ともサロンの手伝いに一生懸命に取り組んだそうです。そのうちの一人は、現在もサロンでボランティアを続けています。

最後に湊町地区社協が抱える課題について、金子千代美会長に伺いました。「ボランティアが高齢化しており、担い手の確保が課題です。そのためには地区社協のことを地域の方に知っていただくことが大切。親子リトミックなど、子ども向



中学校の教員と地域の人で、心肺蘇生法の講習を受けている

けの事業に力を入れている背景には、若いお母さんたちに、将来ボランティアになってほしいという思いがあります。また、私自身、地域住民が集まるあらゆる場所に顔を出して、地区社協の宣伝に努めています。」

事務局や活動拠点を独自に持って、専任のスタッフを配置し、赤ちゃんからお年寄りまで、あらゆる世代に向けた事業を、次々と立ち上げていく先進的な地区社協です。スタッフのみなさんはやりがいを感じながら、いきいきと活動に取り組んでいました。



拠点事業の「それいゆ」で小学生の夏休みの課題などで分からないところを教えてください

船橋市社会福祉協議会 TEL 047-431-2653

地区社協に生活支援コーディネーターを 配置して支えあいの体制づくり

船橋市社会福祉協議会(以下、船橋市社協)は、高齢者になっても住み慣れた地域で安心して暮らせることを目指し、地域での支えあいの体制を作るために、市からの委託を受け、生活支援コーディネーターの配置を進めています。

生活支援コーディネーターの主な役割は、地域における高齢者の生活支援サービス(助け合い活動等)の体制を整備することや、生活支援の担い手の発掘や育成。また、困っている人を生活支援サービスにつなげるお手伝いです。



船橋市社協マスコット
ぶくしろ

船橋市社協では24の地区社協ごとに生活支援コーディネーターを配置することを決定し、平成27年度にまず5地区に配置しました。地区社協がすでに組織立っていたことや、地域づくりを目指すのであれば、地区社協に配置するのが最適と考えたからです。現在18の地区に配置され、30年度中に24地区すべてに配置する計画です。

生活支援コーディネーターの人は地域の状況を把握することや、地域住民の視点を持ちながら地区内の関係機関・団体とのネットワークを築くことのできる人を公募しています。

船橋市社協は月1回、「生活支援コーディネーター連絡調整会議」を開いて情



船橋市社協のみなさん。左から2番目は若生美知子会長

報共有や活動の状況報告などを行っています。すでに助け合いの会を発足した地区や、ニーズ調査を行っている地区など進捗状況は様々ですが、成功事例、失敗事例などを学び合いながら、すべての地区に支えあいの体制を作ることを最終目標と定めて取り組んでいます。

※船橋市人口：632,341人 65歳以上人口：148,203人 高齢化率：23.4%(平成29年4月1日現在)

体験活動・ボランティア活動の支援を通して ボランティアな社会の実現を目指す

千葉県体験活動ボランティア活動支援センター（以下、支援センター）は、平成8年に開設した県立の複合施設「さわやかちば県民プラザ」（以下、県民プラザ）の1階に設置されています。恵まれた環境の中で、体験活動・ボランティア活動に関する相談、普及・啓発、情報収集・発信などの支援を行っています。



恵まれた環境の中で ボランティア体験講座を開催

支援センターでは子どもから大人まで、幅広い年齢層の県民を対象に、体験活動やボランティア活動の支援を行っています。活動相談については、窓口のほか、電話やメール、郵便でも受け付けています。

またボランティア情報の収集については新聞などのメディアからだけでなく、国や県のボランティア情報ネットや市町村のボランティアセンター、市民活動センターやNPO、NGOなど、様々な視点からの情報を集めて、ホームページや館内の情報提供エリアに掲示しています。年4回発行している情報紙「さわやか支援センターだより」にも掲載しています。

支援センターの特徴の一つが、恵まれた環境と充実した設備です。広大な敷地に建つ県民プラザの館内には大小の研修室や会議室、料理室、フィットネススタジオや音楽スタジオまで整っています。この設備を活かして体験活動やボランティア活動に関するイベントや講座を開催しています。

今回は6月24日に実施された「高校生のためのボランティア体験講座」を取材させていただきました。

車いす体験では 段差での難しさを実感

参加した高校生は35名。県内すべて

の高校に向けて募集をかけ、ボランティアに関心を持つ生徒たちが集まりました。講座は6回シリーズで今回は2回目。午前中はボランティア活動の基本について講義を受け、午後から車いす体験、アイマスク歩行体験、福祉車両乗車体験の活動に参加しました。

車いす体験は、まず車いすの開閉方法や正しい使い方を学び、実際に車いすを押す体験を行いました。参加者のみなさんが苦労していたのは階段状になった段差の昇降です。「予想以上に力が必要ですね。街中にはたくさんの段差があるので、今度車いすの方を見かけたら、声をかけてみたいと思いました」と話す参加者もいました。

また、駐車場には超低床のノンステップバスや、ストレッチャーに寝たまま乗り降りできる福祉車両（リフトカー）などが展示され、乗車体験を行いました。障がい者のために様々な工夫を凝らした車両について講師が説明し、参加者は熱心に耳を傾けていました。

視覚障がい者の疑似体験は、一人がアイマスクをして利き手に白杖を持ち、もう一人が言葉をかけながら誘導して、館内の廊下や階段を歩きます。誘導する人は最初、適切な言葉かけができませんでしたが、徐々に「あと3段で階段が終わるよ」「3メートル先を右に曲がります」と、前が見えなくても安心して歩けるよう介助できるようになりました。



千葉県体験活動ボランティア活動支援センター

ボランティアの活動先を 高校生自身が探す

高校生のためのボランティア講座は平成13年度に開始され、例年40名前後が参加しています。夏休みには、高校生自身がそれぞれの地域で探したボランティア先で活動する、という取り組みも行っています。「ボランティアに関する知識や理解を深め、今後、ボランティア活動に参加する動機づけとすることが主な狙いです。また、地域に根ざしたボランティアを体験することで、自らが生活している地域に目を向けてもらうことも期待しています」と、県民プラザ・事業振興課の山崎亨さん。今回の参加者からも「今度は、実際に障がいのある方とふれあったり、支援してみたい」という前向きな声が聞かれました。



さわやかちば県民プラザ 事業振興課 山崎 亨さん

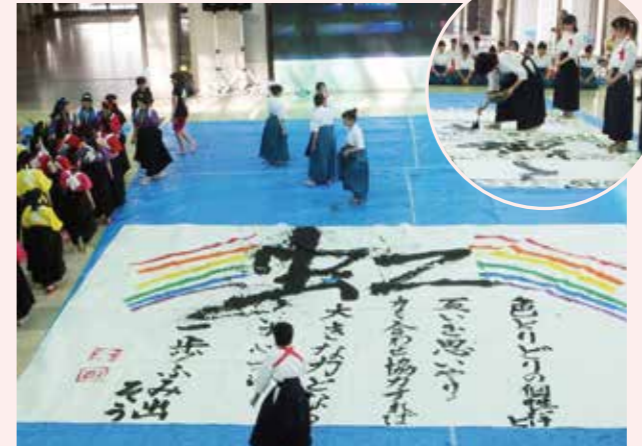
子どもたちのアイデアを 子どもたちが形にする活動

支援センターでは、近隣の小学生を対象とした「子どもチャレンジプロジェクト」も実施しており、例年30～50名が参加しています。子どもたちの「こんなことしてみたい」という思いを、子どもたちが主体となって形にしていく活動で、仲間との関わりの中で共感や達成感を味わいます。

例えば、毎年恒例となっている「1円玉アート」は、大きな紙に子ども自身が絵を描き、イベントの来場者が絵の上に1円玉を置いて募金する活動。完成する



絵の上に募金の1円玉を乗せて、一枚の絵として完成させていく「1円玉アート」の取り組み



昨年のヤングパワームーブメントでは、近隣の高校の書道部のみなさんが、ダイナミックなパフォーマンスを披露



体験者の感想

小池 美咲さん
 (3年生)

小学生の時に「子どもチャレンジプロジェクト」に参加したことがきっかけで、ボランティア活動に興味を持ちました。車いすを押すのは今日が初めてですが、乗っている人に安心感を持ってもらえるように、丁寧に声をかけたり、配慮したりすることが大切だなと感じました。



体験者の感想

佐藤 秀雅さん
 (3年生)

将来の夢は国際ボランティアに携わること。東京オリンピック・パラリンピックでは、ぜひボランティア活動してみたいです。最近の福祉車両は、障がいのある方のことを良く研究して改良されているのですね。重度の方でも快適に移動できることに驚きました。



体験者の感想

山口 由香さん
 (2年生)

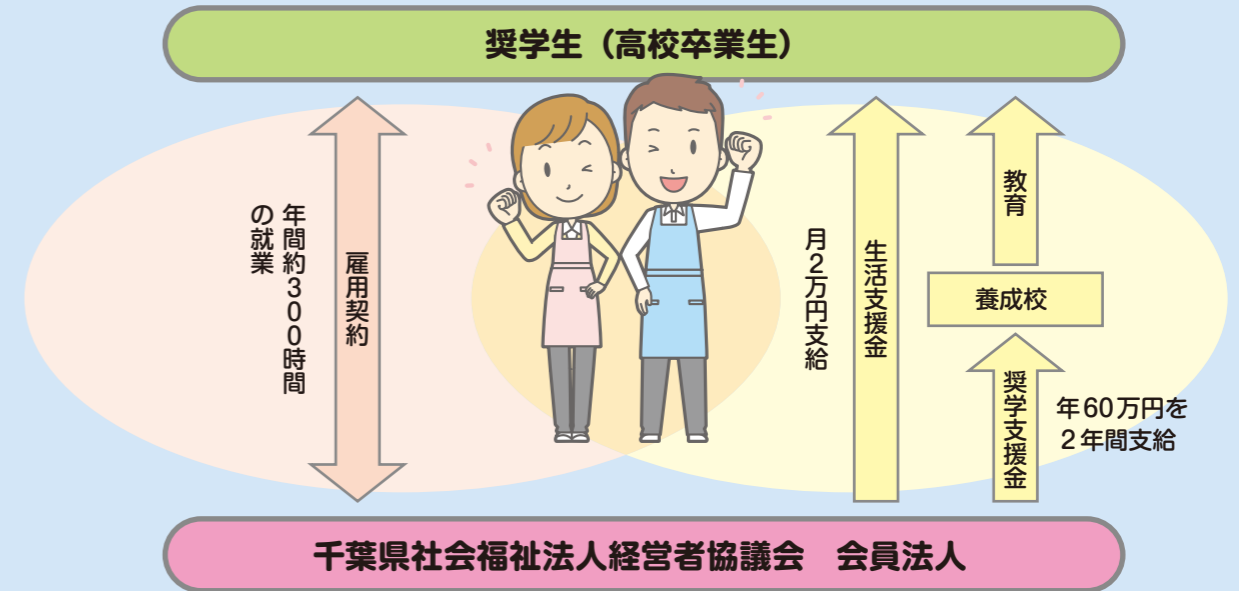
福祉関係の仕事に就きたいと考えています。今回の体験活動を通して、障がい者の外出を支援することは簡単ではなく、常に「安全」ということを念頭に行動しなければいけないと学びました。特にバスに乗る際の支援は、他の乗客への配慮も必要なので難しいなと感じました。



若者チャレンジ支援 「デュアル・システム」をごぞんじですか？

1 「デュアル・システム」とは

「デュアル・システム」は、千葉県社会福祉法人経営者協議会が平成28年度から始めた、介護福祉士や保育士を目指す若者を「修学」と「就業」の両面（デュアル）から支援する奨学制度です。



- ・奨学生は、この制度に賛同する社会福祉法人（以下 賛同法人）施設と雇用契約を結び、支援規程に基づいて、養成校に通い「介護福祉士」や「保育士」を目指します。
- ・修学に際しては、賛同法人から年額60万円の奨学支援金（貸付）と月額2万円の生活支援金（給付）が給付されます。
- ・奨学生は、賛同法人施設職員として年間300時間を用途に業務に従事します。業務に対しては、時給が支払われます。
- ・養成校を卒業後、当該施設で3年間勤務された場合は奨学支援金の返還が免除されます。

2 デュアル・システムが目指すもの

この奨学制度は、福祉や保育分野を目指しながらも経済的に厳しい学生の方を支援しようとする社会福祉法人の地域における公益的な取組です。

3 制度が使いやすくなりました

平成29年度から、さらに多くの学生の方に使っていただけるよう、運用の見直しが行われました。主な見直し点は以下のとおりです。

- ①他の制度との併用が可能になりました。ただし、併用される場合は、就学支援金は2年間で100万円が限度となります。
 - ②養成校や短大生だけでなく、4年生大学の学生の方も利用が可能になりました。ただし、支援期間は2年間となります。
 - ③他都県に住所がある学生の方も制度の利用が可能となりました。ただし、千葉県内の受入養成校に通学し、卒業後も千葉県内の賛同法人施設に勤務することが条件となります。
- *デュアル・システムでの支援を検討される方、システムへの賛同を希望される法人の方は下記までお問合せください。

○千葉県社会福祉協議会 福祉サービス事業部 福祉施設経営支援班 デュアル・システム担当者 TEL 043-245-1104

平成29年4月から 介護福祉士等 届出制度 スタート!!

社会福祉法が改正され、介護福祉士の資格を持つ方の届出制度がスタートしました。
介護福祉士の資格を持つ方の届出は努力義務となっていますが、介護職員実務者研修・介護職員初任者研修・介護職員基礎研修・ホームヘルパー1級・2級を所有している方も、届け出ることで支援を受けることができます。



届出をするには

届出は「福祉のお仕事」トップページ（左図①）をクリックし、ページ左側の【新規登録】→【利用規約を確認し、同意】→【メールアドレス等入力・設定】→設定したアドレスに発行用URLが送付されますので、必要事項を入力してください。

- メリット1** 介護の仕事等に関する最新情報をお届けします。
- メリット2** 知識や技術の再習得研修、職場体験のサポートをします。
- メリット3** 再就職希望の方は、ホームページ上のサポートだけではなく、福祉人材センターが再就職の手伝いをします。

※マイページ作成だけでなく、届出申請を必ず行ってください。

求職登録をするには



ホームページがリニューアルされ、インターネット上で求職登録が可能になりました。人材センターに来所しなくても求職活動ができますので、遠方の方も是非ご利用ください。

登録をご希望の方は、「福祉のお仕事」トップページ（上図②）から【新規登録】をしてください。また、③から、求人の詳細検索をすることもできます。

今までどおり、福祉人材センター窓口での登録も可能です！ 就職・転職に関する相談も随時行っています。皆さまの来所&登録をお待ちしております。

※マイページ作成だけでなく、求職登録を必ず行ってください。

問い合わせ先：千葉県福祉人材センター TEL 043-222-1294

「福祉のお仕事」
ホームページも
リニューアル
しました!

保育のお仕事探しを応援します!

ちば保育士・保育所支援センター

平成29年4月7日から
「塚本大千葉ビル3階」に
ちば保育士・保育所支援センターの
窓口を移転しました!
6階から3階に窓口を移し、
さらに利用しやすくなりました。
積極的にご利用ください!

ちば保育士・保育所支援センターは、県内の保育所(園)の求人情報を収集し、保育士資格を持つ方の就職・相談支援を行なっています。

就職
支援

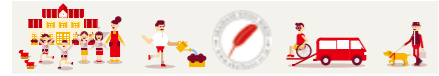
再就職
支援

相談
支援

問い合わせ先：ちば保育士・保育所支援センター TEL 043-222-2668



赤い羽根共同募金



平成28年度 赤い羽根共同募金 ご協力ありがとうございました

地域のみなさまの 『思いやりのきもち』をつなぎます

昨年10月1日から平成29年3月31日までの6カ月にわたり、「赤い羽根共同募金運動」並びに12月に実施した「歳末たすけあい運動」には、各行政区をはじめとする県内の学校、各種団体、ボランティアグループ、企業等多くの皆さまにご協力いただき、誠にありがとうございました。
地域のみなさまからお寄せいただいた募金は、千葉県共同募

金会と各市区町村社会福祉協議会によって、約80%がみなさまのまちの福祉の向上のために、約20%が千葉県域で支援を必要とする方のために使われます。
昭和22年に始まった共同募金は、みなさまのあたたかい気持ちに支えられ、平成29年度で70周年を迎えます。『赤い羽根募金は、じぶんの町を良くするしくみ。』今後とも、共同募金をよろしく願い申し上げます。

平成28年度 千葉県の募金額

6億9,008万840円

- 赤い羽根共同募金 4億4,258万4,759円
- 市町村歳末たすけあい募金 2億2,283万5,633円
- NHK歳末たすけあい募金 2,466万448円

平成28年度 共同募金のつかいみち

助成合計額 7億35万4,733円

※災害準備金取崩額等の繰越額があるため、募金額との収支は一致しません。

住民のみなさんのために
3億1,431万円



病院への送迎サービス

子ども達のために
6,232万円



遊具の設置

お年寄りのために
1億3,913万円



老人ホーム設備購入

災害等被災者のために
2,347万円



被災者交流会

障がい児・者のために
8,293万円



サウンドテーブルテニス大会開催

経費
7,819万円

詳しいつかいみちは「はねっと」に掲載!!

共同募金会では、赤い羽根共同募金に寄せられた寄付金を、毎年、全国のおよそ7万件の地域福祉活動や草の根のボランティア活動に助成しています。赤い羽根データベース「はねっと」では、こうした地域福祉活動を各市町村ごとに一つひとつ紹介す

る取り組みをしており、寄付者の皆様により手軽にわかりやすく使い道を知っていただけるよう努めています。
皆様のお住まいの地域では、どのように赤い羽根共同募金が活かされているのか、是非ご覧ください。



当会のマスコットキャラクターができました♪

募金運動創立70周年を記念し、このたび千葉県共同募金会のマスコットキャラクター「びわびよ」が生まれました。
制作にあたっては専門学校千葉デザイナー学院様にご協力をいただき、千葉の名産である「びわ」と赤い羽根から「ひよこ」をイメージしてデザインされました。制作にご協力いただいた皆様にご心よりお礼申し上げます。これから当会ホームページ等で、共同募金会の活動をPRしていきますので、どうぞよろしくお願いたします。



皆さまに支えられて、共同募金は今年70周年

共同募金運動は、第二次世界大戦後、昭和22(1947)年に「国民たすけあい運動」として始まりました。戦後復興として第一回目の共同募金運動では、およそ6億円の浄財が寄せられ、現在では、時代の移り変わりに合わせてさまざまな地域の課題解決のための「じぶんの町を良くするしくみ」として取り組んでいます。長年、運動に携わってきたボランティアの皆さま、寄付者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

社会福祉法人 千葉県共同募金会

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-3 県社会福祉センター2F
TEL:043-245-1721 TEL:043-242-3338
http://www.akaihane-chiba.jp/



県社協ニュースプラス1

ツルハホールディングス株式会社、クラシエホールディングス株式会社から 車いす20台が寄贈されました



寄贈者の皆様(右から5名の男性)と本会役員

ツルハホールディングス株式会社及びクラシエホールディングス株式会社から本会へ車椅子20台が寄贈され、5月30日に千葉県社会福祉センターで贈呈式が行われました。
両社は、平成21年から全国のツルハドラッグの店頭で行った共同キャンペーンの売上の一部で購入した車いすの寄贈を続けており、本会への寄贈台数は今回を含めて100台になります。
本会では、寄贈していただいた車いすを県内市町村社会福祉協議会や福祉関係団体へ配分し、福祉用具としての貸出しや福祉体験講座の教材などとして活用していただく予定です。
両社の御厚意に深く感謝いたします。ありがとうございました。

お問い合わせ先：千葉県ボランティア・市民活動センター
Tel 043-204-6010

地域の情報ひろば 世界アルツハイマーデー記念講演会 ～認知症 あわてず おそれず あきらめず～

- 日 時：9月22日(金) 午後1時～4時
- 場 所：千葉市文化センター3F アートホール
- 講 師：旭中央病院認知症疾患医療センター長 持田英俊氏
「認知症疾患医療センターの立場から」
千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科
准教授 竹内弥彦氏
「認知症予防・コグニサイズ」
- 問合せ先：認知症の人と家族の会千葉県支部 ☎043-204-8228

社会福祉施設 経営相談専門家相談カレンダー (平成29年度)

月	会計等(税理士・公認会計士)	労務等(社会保険労務士)	法律(弁護士)
8月	7日(月)・21日(月)	2日(水)・16日(水)	9日(水)・23日(水)
9月	4日(月)・19日(火)	6日(水)・20日(水)	13日(水)・27日(水)

◎要予約。一般相談・予約は☎043-245-4450 社会福祉施設経営相談室まで

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

平成29年度
全国200万人
加入!!

保険金額		年間保険料(1名あたり)	
ケガの補償	賠償責任	タイプ	プラン
死亡保険金	5億円(限度額)	基本タイプ	Aプラン
後遺障害保険金			Bプラン
入院保険金日額	500円	天災タイプ(※)	Aプラン
手術保険金			Bプラン
通院保険金日額	710円	天災タイプ(※)	Aプラン
特定感染症の補償			Bプラン
葬祭費用保険金(特定感染症)	500円	天災タイプ(※)	Aプラン
賠償責任保険金(対人・対物共通)			Bプラン

ケガの補償	賠償責任
死亡保険金	5億円(限度額)
後遺障害保険金	500万円(限度額)
入院保険金日額	6,500円
手術保険金	65,000円
通院保険金日額	4,000円
特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ
葬祭費用保険金(特定感染症)	300万円(限度額)
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)

保険金をお支払いする主な例



- ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)
- 送迎サービス補償 (傷害保険)
- 福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間：平日の9:30～17:30(12/29～1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

ご存知ですか? こども食堂

こども食堂 つき



大家族のような賑やかな食卓では、家ではあまり喋らない子どもでも気軽に話せちゃう。

運営主体 NPO法人 ほっとすペース・つき
連絡先 Tel/Fax 043-235-8008
ホームページ <http://hottospace.com>

- 開催日時：毎週水曜日 18:30～19:30【要予約】
(居場所事業は常設です。土・日・祝日を除く15:00～20:00)
- 開催場所：千葉県佐倉市稲荷台1-17-1 2階
- 参加費：子ども100円、大人400円
※親子割引(子ども1人・大人1人のご利用)で400円



世代を超えたガールストークやホームワークの場にも・・・



●笑顔あふれる“いつもの食卓”

部屋中に漂う食欲を刺激するカレーの香り。「ご飯の量はどのくらいいい?」「甘口にする、それとも中辛?」。ボランティアの問いかけに、目を輝かせながら応える子どもたち。カレーを受け取り一旦自分の席に運ぶと、次はジャガイモやひじきの煮物、生野菜など、4～5種類の副菜が並べられたテーブルへ足を運び、好きなものを好きなだけ皿に盛り付けます。食事が始まると部屋中に子どもたちの笑顔があふれ、それを温かな眼差しで見守る大人たち……。これは、京成臼井駅のほど近くにある「NPO法人 ほっとすペース・つき」(以下、「ほっとすペース・つき」)で、毎週水曜日の夕刻に見られる「こども食堂つき」(以下、「こども食堂」)で的一幕です。



は平成28年4月からスタート。『こども食堂』担当のボランティア(約10名)が真心を込めて作る、美味しく、栄養面も考慮した料理が低価格で堪能できるため、多い時には40名超が訪れることも。この事業は地域の人々からも多くの理解と協力が得られ、米や野菜は農家からの寄付、肉はお肉屋さんから半額で購入、パン屋さんからはパンの無償提供などを受けているという事実が、その証となっています。



おかわり自由だから、みんなニコニコお腹いっぱい!

考えからだそうです。

●『こども食堂』の普及をめざして!

『こども食堂』の今後に関して訊ねると、「『こども食堂つき』はボランティアさんをはじめ寄付をしてくださる方々も多く、楽しく運営できています」と田代さん。「[佐倉市全体で見ると、『こども食堂]

の数はまだまだ足りません」と。そこで「ほっとすペース・つき」では、『こども食堂』を作りたい、興味があるという方々のために、3ヵ月に1度のペースで「こども食堂作り隊」を開催し、『こども食堂』のさらなる普及に尽力しています。次回は10月に開催を予定。このほかにも、色々な活動を行っている「ほっとすペース・つき」、詳細はHPをご覧ください。

●地域の人々のあたたかい支援

「ほっとすペース・つき」は平成26年に発足し、同年4月からこの場所を拠点に活動している、社会福祉士を中心として発足した団体で、支援を必要としている人々(子ども、不登校・ひきこもり、高齢者など)を対象に、様々な事業を展開しています。『こども食堂』



ごく普通の家庭料理でもみんなの笑顔が真似のできない隠し味。

●『こども食堂』は“こころの居場所”

「形態は確かに『こども食堂』ですが、我々の考え方は少し違うのです」と語る代表の田代和美さんは、全国で484名、千葉県でも数少ない認定社会福祉士であり、独立型社会福祉士事務所の所長も務めています。田代さんによると、「ほっとすペース・つき」の最も重要な役割は“居場所”の提供であり、『こども食堂』を含めその他の事業も、そのためのおプションと考えており、「ここに来れば話せる人がいる」をコンセプトに、施設の毎日開放にこだわっているのも、その



FUKUSHI-JOB SEARCH

福祉のお仕事

千葉県福祉人材センター

TEL.043-222-1294

福祉のお仕事

<http://www.nw.fukushi-work.jp/>